



(香風園)

**主な内容** **小児の冬の感染症** .....3P  
**食事で風邪を引かない体を作ろう**.....4P  
**認定看護師だより** .....5P

## 新年のごあいさつ

院長 岡田節雄



新年明けましておめでとうございます。本年が市民の皆様方におかれまして、より良い年であります事を職員一同祈念致しております。

坂出市立病院は当地に新築移転し、早や3年が過ぎました。新築移転を期に更に急性期医療に主軸を置き、地域中核病院として高度医療の提供、専門性の高い医療の実践に努めて参りました。また新築移転前に当院のあり方検討委員会のメンバーに御参加・御協力・御尽力頂きました香川大学泌尿器科(教授) 笈善行先生が、昨年10月に香川大学学長に御就任され、当院と香川大学医学部との関わりも尚一層強固になる事と願っております。当院には各診療科に多くの専門医が在籍しておりますし、香川大学から研修に来られる初期臨床研修医も年々増加傾向となり、活力ある病院に成長していると感じております。

あわせて地域公立病院の使命でもあります不採算医療となるへき地診療、診療所での医療も継続致しております。昨年から王越と与島の診療所での医療も当院が全て担う事となり職員の負担も増えておりますが、病院理念「市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に」のもと、いかに効率良くへき地医療を実践できるかを常に念頭に置き試行錯誤しながらも前に進んでおります。

日本が世界で類を見ない超高齢化社会に本格的に突入する2025年に向けて、限りある医療資源を有効活用した医療の実践を目指した地域医療構想も本格化致します。西部医療圏(中讃保健医療圏+三豊保健医療圏)(丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町、観音寺市、三豊市)では国が示す病床機能分類を明確にし、その数値目標から、高度急性期病床の増床、急性期病床の削減、回復期病床の増床、慢性期病床の削減、全体としてはかなりの病床削減(約1000床減)が提示されております。医療難民が出ない様に望む地域住民の期待する医療体系との乖離に各病院ともジレンマを感じておりますが、到来する2025年に向けて独自に調整を致しております。坂出市立病院は新築移転時の構想通り、高度急性期病床と急性期病床のみで運営する方針に変わりはありません。昨今の病院経営の困難さはありますが、医療の質と経営の質を両立させながら、職員一同職務に邁進致す所存です。

今後とも市民の皆様方の御理解、御協力の程をお願い申し上げて年頭の挨拶とさせていただきます。

## 歯科医療連携スタート!!

歯科医・歯科衛生士が派遣され、患者様の口腔ケアを行います。



看護部長 橋本 澄

# 新年のごあいさつ



事務局長 前谷博司

新年明けまして、おめでとうございます。  
当院は、地域に密着した病院としての役割を担うべく、急性期から退院支援に至るまで、チーム医療を推進しています。また、昨年度より、認定看護師による地域への出前講座を開始しました。専門領域に知識のある看護師が、わかりやすい内容で講義をしています。本年も、地域の皆様から信頼される病院となるように、職員一人ひとりが目標を持ち、自己研鑽に努めてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。  
新病院が開院し早や3年が経ちました。昨年には旧病院の解体撤去も無事完了することができ、近隣の皆様にはこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。これからも患者様の声を大切に、基本理念であります「市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に」を目指して参りますので、皆様のより一層のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
本年が皆様にとりまして、よりよい年になりますよう心からお祈りいたします。

## 泌尿器科へ12月に 新しい結石破碎装置を導入しました

患者様への負担を軽減しつつ、  
幅広い結石に対応できるようになりました。



## 気管支炎と肺炎にご用心

内科医員 喜多信之



空気中に含まれる不純物といえば、よく言われるのは花粉やPM2.5です。しかしそれ以外に雑菌も空気中をただよんでいます。空気を吸って生きている私たちは、いつでも気管支炎・肺炎を起こす機会があるということです。

一般に気管支炎はウイルス、肺炎は細菌によって発症します。ウイルスや細菌を吸ってしまったからといって必ず発病するわけではありません。ウイルスや細菌を多く吸い込めばそれだけ発病しやすくなりますし、自分の抵抗力が低下している状態、喘息や肺気腫など持病が悪化した状態では少ないウイルス・細菌でも発病してしまう危険性は高まります。したがって、マスクを着用したりしっかりうがい・手洗いをしたりして、吸い込むウイルス・菌を極力減らすこと、規則正しい生活・バランスの良い食事・十分な睡眠を心がけて抵抗力を高めること、呼吸器疾患の持病がある方は持病の治療を継続することが予防につながります。

また、特に感染を起こしやすい菌・ウイルスに絞った予防として、ワクチンがあります。皆さんご存知の通り、これから寒くなりインフルエンザが流行する時期です。事前にインフルエンザワクチンを接種することで、インフルエンザの発病を予防できたり、発病しても症状を軽くする効果が期待できます。また肺炎球菌は、特に高齢者にとって命に関わる重篤な肺炎を起こすことが知られています。現在65歳以上の方には5年に1回の肺炎球菌ワクチン定期受診が推奨されています。

気象庁によると、今年の四国の冬は平年並みかそれ以下の気温になると予想されています。寒い冬、気管支炎・肺炎にならないようしっかり予防して元気に春を迎えたいものですね。

# 小児の冬の感染症

小児科部長  
谷本清隆



小児の冬の感染症といえば、RSウイルスとインフルエンザが代表的です。今季のRSウイルスは、珍しいことに夏から流行が始まり、たくさんの赤ちゃんが呼吸困難で入院しました。特に生後6ヶ月未満の乳児が罹患すると、細気管支炎になり呼吸困難をおこすことが多くなります。そして実はRSウイルスは、小児だけでなく成人もかかります。というのも免疫ができてにくいウイルスのため、生涯にわたり感染をおこすからです。感染経路は飛沫感染と接触感染があり、特に手洗いが重要だといわれています。残念ながら特効薬はありませんし、予防接種もありません。

ところがインフルエンザにはワクチンがあります。皆さん接種されましたでしょうか？ただしインフルエンザワクチンの問題点の一つとして、ウイルスは常にモデルチェンジするため、作ったワクチンとズレが生じてしまう恐れがあり、その場合はワクチンの効果は減少します。しかし、RSウイルス感染症と違って、タミフルなどの特効薬があります。現在は新生児と乳児にもタミフルが使用できます。なお、インフルエンザで最も重い合併症がインフルエンザ脳症です。死亡率は約30%で、後遺症も約25%の子どものみられる重篤な疾患です。発症を予防するにはインフルエンザワクチンの接種が有効です。たしかに、ワクチン接種しても脳症をおこした患者さんはおられますが、現在のところワクチン接種しか予防方法がないのです。

ワクチンがある疾患には「ワクチン接種」をして、咳があればマスクなどを着用する「咳エチケット」を守り、帰宅時には家庭にウイルスを持ち込まないように「手洗い」をして、是非この冬を乗り切ってください。

参考文献：国立感染症研究所感染症情報センター 日本小児神経学会ホームページ

## 腰痛と骨粗鬆症について

整形外科医員 川田明伸

めっきり寒い季節となりました。今回は腰痛と骨粗鬆症についてお話します。整形外科を受診する人の中で最も多い症状が腰痛です。65歳以上の人の約5人に1人は腰痛を自覚しているといわれており、日本人の8割以上が生涯において腰痛を経験するともいわれています。腰痛が起こる病気はたくさんあり、内臓の病気でも腰痛が起こることがありますが、腰椎(体を支える腰の骨)またはその周辺の組織、筋肉や神経に何らかの異常が起きている場合がほとんどです。一般に腰痛の予防には日常生活動作での姿勢の改善や体幹のストレッチ、ウォーキングなどの適度な運動が有効とされています。整形外科では年齢、突然起きたのか、長く続いているのか、痛みの部位、その他の症状について問診を行って診察し、レントゲン検査や必要

であれば採血検査、CT、MRIなどを行い、診断して治療を進めていきます。

腰痛を起こす病気の中でも注目したいのが骨粗鬆症による腰痛です。骨粗鬆症は女性に多く症状が出にくい病気で、全くの無症状のこともあれば、背中が丸くなる、身長が縮む、腰や背中に軽い痛みという症状が出ます。これらの変化は徐々に起きるためなかなか病気であると気がつきません。そして、骨粗鬆症によりもろくなった骨は体の重みだけでつぶれてしまう事

があります。これを圧迫骨折といい、強い痛みを伴って入院が必要となることもあります。バランスのとれた食事、適度な運動により予防するとともに、圧迫骨折を起こす前に骨粗鬆症を早期発見、早期治療したいものです。



# 食事で風邪を引かない体を作ろう

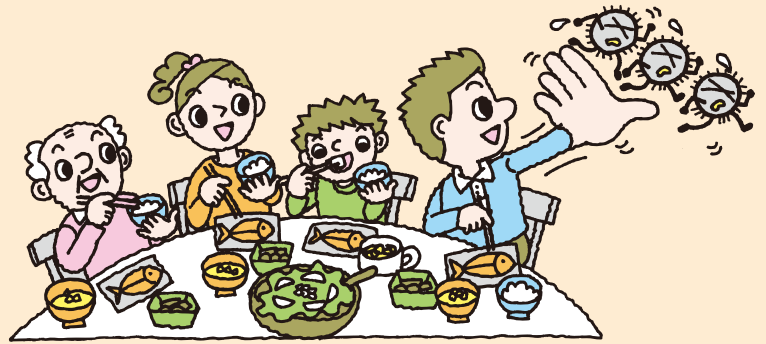
管理栄養士  
大西由起子

今の時季は寒さも増して空気が乾燥し、ウイルスや細菌が飛散しやすくなっています。健康を維持するためにはたっぷり休養すること、しっかり運動をすること、ストレスを溜めないこと、そしてバランスの良い食事を心がけることです。

バランスの良い食事とは、ご飯やパン、麺類などの主食、肉、魚、卵、大豆製品などの主菜、野菜や海藻、キノコ類、芋類、果物などを使った副菜が揃った食事です。この食事の中に積極的に取り入れたのが免疫力を高めると言われている栄養素です。

ビタミンA、ビタミンB<sub>2</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>は粘膜を健康に保つ機能を持っています。ビタミンAはうなぎ、緑黄色野菜、ビタミンB<sub>2</sub>は卵類、牛乳、ビタミンB<sub>6</sub>は卵類、緑黄色野菜、魚類に多く含まれています。レバーはこれらのビタミン全てを多く含んでいますが、食べ過ぎに注意が必要です。

また、腸は大きな免疫組織と考えられています。正常に維持するために根菜類に多く含まれる食物繊維やヨーグルト、納豆などの発酵食品がおすすめです。ビタミンCについては賛否両論ありますが、柑橘類



や緑黄色野菜に多く含まれています。

すでにお気づきのことと思いますが、これらの栄養素は幅広い食材に含まれていて、風邪予防のためにあえて食材を選ばなくても色々な食材をバランス良く摂ることで自ずと必要な栄養素は摂れます。

それでも風邪を引いてしまった場合、お薦めはうどんやお粥など消化の良い食べ物です。胃腸症状があるときや食欲が無い時は無理をせず、体調に合わせた食事を摂りましょう。

## 気にしすぎではありませんか？子どもの発音

言語聴覚士  
斉藤恵美子

ヒトは赤ちゃんの頃から、自然に周りの大人がよく使っていることばを身につけていきます。日本語に使用される音すべてが発音できるようになるのは、個人差がありますが5~6歳頃と言われています。しかし、2、3歳で「お友達は大人と同じように話す(発音する)のに、赤ちゃんのような話し方をする。」「言えない(上手く発音できない)音がある。」と心配になる方もいらっしゃると思います。

では、正しい発音を促すにはどうすれば良いのでしょうか。

まず、しっかりと身体を使って遊ぶことが大切です。発音する唇、舌は筋肉です。口の動きは手先と同じで、ある程度の筋力が無いと不器用になる場合があります。外で遊ぶ、お散歩をするなどが子どもの筋トレになります。四つ這いの姿勢も、子どもにとっては大人の腕立て伏せと同じ効果があります。広い場所で四つ這いで競争して遊ぶのも良いでしょう。

次に、間違った発音を真似しないことも重要です。例えば「つみき」を「ちゅみき」と言っていると、子どもらしく可愛く聞こえます。でも、大人が同じような発音をするのは控えましょう。正しい発音と思いついてしまいます。「いぬ」を「わんわん」と言うなどの幼児語はかまいません。幼児語は子どもにとって言いやすいので、無理に大人と同じことばにする必要はありません。

最も大切なのは、間違った発音を指摘しない、言い直しさせないことです。音の違いに気づくのも5歳以降なので、間違いを指摘されても何が違うのかが分かりません。気になる場合は、さりげなく正しい発音を聞かせてあげましょう。

子どもらしい発想や発見に相槌を打つなどして、会話を楽しむことを大切にしましょう。

発音できるようになる年齢	日本語の音
~4歳ごろまで	ア行、カ行、タ行(ツを除く)、ナ行、ハ行、マ行、ヤ行、ンガ行、ダ行(ツを除く)、バ行、パ行
5~6歳ごろ	サ行、ラ行、ツ、ザ行



# 大規模災害訓練の実施

救急看護認定看護師 射場光一

当院は救護病院・広域救護病院に指定されており、災害発生時には、地域の中核病院としての貢献が期待されています。現在の科学でも正確な地震予知は困難であり、備えやシミュレーションを行ったうえで被災した場合と、まったく準備をしていない場合とでは病院機能の様態は大きく異なると考えられるため、毎年、試行錯誤しながら災害訓練を行っています。

今回の訓練では、手術や外来の処置診療を通常通り行っている最中に大地震が発生した、という状況を想定しました。いかに外来部門・病棟部門・検査部門と連携するか、いかに救急患者を多数かつ迅速に受け入れるかが課題となります。職員一同が災害時ならではの問題点を認識し、有意義な訓練となりました。これから改善を重ねてよりよい医療体制を目指したいと思います。

平成29年12月9日(土)

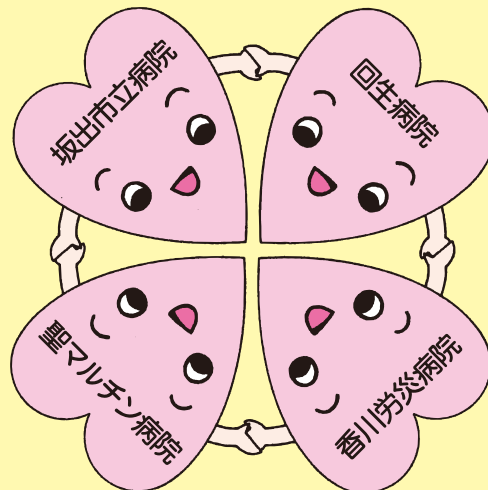
●軽症から重症まで約30名の模擬患者が到着。本番さながらの訓練になりました。



●トリアージ  
(重症度に基づいて治療の順番を迅速に決定すること)



## 近隣の病院と 相互支援協定を 結びました



落雷などの天災や突然の故障などで医療に支障が出たとき、代わりに手術道具を洗浄したり、医療用品を貸し出したりしてスムーズに相互支援ができるようになりました。

## 平成29年11月1日(水) ふれあい看護体験を実施しました



坂出育愛館の園児たちが  
ナースのお仕事を体験！！

赤ちゃんのお世話は  
どうするのかな



けがをした人の手当てを  
してみよう



車椅子の使い方  
を教わったよ

## 平成29年10月14日(土) 第18回 院内研究発表会を開催しました

当院では、業務を点検・評価して医療の質を高めること目的に、研究成果を発表する機会を年1回設けています。全国自治体病院学会の報告を行ったり、各部署が1年間取り組んだ成果を発表したりしました。活発に意見や質問が出され、有意義な時間となりました。

また、特別講師として神戸学院大学現代社会学部社会防災学科教授の中田敬司先生をお招きし、「大規模災害時における医療活動について」をテーマにご講演をしていただきました。



## 病院ボランティア 太陽の会



設立年月日 (活動開始時期)	平成12年7月
メンバー構成 (人数など)	元職員7名を含む計23名が登録
活動内容	絵本とお話の会・昔の道具回顧(大橋図書館協力) 大正琴演奏会 ご希望の入院患者様の理髪 ご希望の入院患者様の傾聴活動 ドライフラワーの飾付け 化学療法治療患者様への帽子作成 お花の提供 七夕まつり・クリスマス会の手伝い その他受付手伝いなど

# 特殊外来・専門外来予定表

平成30年1月1日現在

診療時間

午前 8:30～11:30

午後 13:30～16:30



※ 詳細は、各科外来窓口にお問い合わせください。(診療時間内をお願いします。)

診療科名	外来名等	担当医師名	診療時間・曜日	特徴など
内科	呼吸器	日本呼吸器学会指導医 中村 洋之	午前：月～木曜日 午後：水曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管支喘息、肺炎、結核症および非結核性抗酸菌症、慢性閉塞性肺疾患、呼吸不全、びまん性肺疾患、肺癌、緩和医療など幅広く呼吸器疾患全般へ対処。</li> <li>・急性呼吸不全に対しては、非侵襲的および侵襲的人工呼吸療法を中心とした全身管理。慢性期には包括的呼吸リハビリテーションを施行。</li> <li>・睡眠時無呼吸症候群の診療も扱います。</li> </ul>
		日本内科学会認定内科医 喜多 信之	午前：金曜日 午後：月・水曜日	
	禁煙	禁煙科学学会認定禁煙支援専門医 吉原 夕美子	要予約（ご相談）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙補助剤（パッチ、飲み薬）を使用しながらニコチン依存症の治療を行います。条件によっては、保険適用可能です。</li> </ul>
	循環器	日本循環器病学会認定循環器専門医 吉川 圭	午前：水・金曜日 午後：月曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虚血性心疾患、心不全、不整脈など循環器救急への24時間対応を含め、広く循環器一般を扱います。</li> </ul>
		日本循環器病学会認定循環器専門医 藤田 憲弘	午前：火曜日 午後：水・木曜日	
		日本循環器病学会認定循環器専門医 吉原 夕美子	午前：火曜日	
		日本内科学会 林 夕起子	午後：月曜日 午前：木曜日	
	消化器	日本消化器内視鏡学会専門医 室田 將之	午前：火曜日 午後：木曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胃腸、肝胆膵領域を中心に消化器疾患全般を扱います。特に腹部超音波、内視鏡検査によりの確に診断し、消化器癌の早期発見・治療に努めています。</li> </ul>
		日本消化器内視鏡学会専門医 綾木 麻紀	午前：月・木曜日	
		日本消化器内視鏡学会専門医 松永 多恵	午前：月曜日（隔週） 午後：木曜日	
		日本内科学会認定内科医 多田 尚矢	午前：水・金曜日	
	糖尿病	日本糖尿病学会研修指導医 大工原 裕之	午前：月～金曜日・第2土曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経口薬でコントロール不良となっている糖尿病のコントロールを改善します。</li> <li>・糖尿病療養指導士の資格を持ったスタッフと共に、患者さんの生活習慣改善に努めます。</li> </ul>
		日本糖尿病学会研修指導医 大島 都美江	午前：木曜日 午後：火曜日	
	血液/漢方	日本血液学会指導医 田岡 輝久	午前：月・水曜日 午後：金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧血から白血病、悪性リンパ腫まで幅広く血液疾患を診察します。</li> <li>・西洋医学の不得意な慢性病に非常に効果がある漢方診療もしております。</li> </ul>
	血液	日本血液学会専門医 松岡 亮仁	午後：火・金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧血から白血病、悪性リンパ腫まで幅広く血液疾患を診察します。</li> </ul>
腎臓	日本腎臓学会専門医 西岡 聡	午前：月曜日（隔週）・木曜日 午後：金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎疾患の専門的治療を行います。</li> </ul>	
膠原病・リウマチ	日本リウマチ学会専門医 中島 崇作	午後：金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・膠原病・リウマチの専門的治療を行います。</li> </ul>	
小児科	アレルギー	日本小児科学会専門医 谷本 清隆	谷本医師の診察時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーの患者を対象とした専門外来。</li> </ul>
外科	ストーマケア	日本外科学会専門医 井上 達史	午前：水曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーマ（人工肛門）の経過観察、ストーマ処置の指導や治療・相談などを行っています。</li> </ul>
整形外科	リウマチ	日本リウマチ学会専門医 田村 知雄	午後：第1・第3金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初診時は、一般外来の受診が必要です。</li> </ul>
	膝・骨粗鬆症	日本整形外科学会専門医 真柴 賛	午後：第2・第4月曜日	
	脊椎	日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医 小松原 悟史	午前：土曜日（月2回）	
産婦人科	母乳外来	IBCLC(ラクターション・コンサルタント)日本産科婦人科学会専門医 戸田 千	要予約（ご相談）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんとの生活でお悩みの方（乳腺炎・ミルクの量など）、ご利用ください。自費料金 初回3,240円 2回目以降1,080円</li> </ul>

# 外来診療予定表

平成30年1月1日現在

受付時間	午前	初めての方 8:30~11:30	再来の方 8:00~11:30
	午後	13:00~16:30	
診療時間	午前	8:30~11:30	
	午後	13:30~16:30	

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	初診・総合	吉原 夕美子	谷本千佳子 (毎週前半) 田岡 輝久 (2・4週後半) 大島 都美江 (1・3・5週)	谷本 千佳子	田岡 輝久 (1・5週) 土居 智和 (2・4週) 喜多 信之 (3週)	藤田 憲弘	交代診療 下記の専門外来もを行います。  大工原 裕之 糖尿病(第2週)	
	呼吸器	中村 洋之	中村 洋之	中村 洋之	中村 洋之	喜多 信之		
	循環器	紹介患者	藤田 憲弘 吉原 夕美子	吉川 圭	林 夕起子	吉川 圭		
	消化器	綾木 麻紀 松永 多恵 (隔週)	室田 将之	多田 尚矢	綾木 麻紀	多田 尚矢		
	糖尿病	大工原 裕之	大工原 裕之	大工原 裕之	大工原 裕之 大島 都美江	大工原 裕之		
	血液・漢方	田岡 輝久	紹介患者	田岡 輝久	紹介患者	紹介患者		
	腎臓	西岡 聡 (隔週)			西岡 聡			
	禁煙	「禁煙外来」を予約制で行っておりますので、ご相談ください。						
	午後	吉川 圭 (循環器) 喜多 信之 (呼吸器) 林 夕起子 (循環器)	大島 都美江 (糖尿病) 松岡 亮仁 (血液・総合)	藤田 憲弘 (循環器) 吉川 圭 (ペースメーカー) 喜多 信之 (呼吸器)	室田 将之 (消化器) 松永 多恵 (消化器) 藤田 憲弘 (循環器)	田岡 輝久 (血液・漢方) 松岡 亮仁 (血液・総合) 西岡 聡 (腎臓) 中島 崇作 (膠原病)		は 休診です
	小児科	午前	谷本 清隆 及川 薫 和唐 彰子	砂川 正彦 川崎 綾子 及川 薫	及川 薫 和唐 彰子 砂川 正彦	谷本 清隆 和唐 彰子 川崎 綾子		砂川・和唐 川崎 岡大医師
午後	砂川 正彦 及川 薫 谷本 清隆	及川 薫 谷本 清隆 川崎 岡大医師 <small>予防接種 乳幼児健診</small>	谷本 清隆 及川 薫 砂川 正彦	及川 薫 砂川 正彦 川崎 綾子	及川 薫 川崎 綾子 谷本・岡大医師 <small>予防接種 乳幼児健診</small>			
耳鼻咽喉科	午前	武田 純治 香川大医師	武田 純治 (初診のみ)	武田 純治 香川大医師	武田 純治 (初診のみ)	武田 純治 香川大医師		
午後	武田 純治 香川大医師		武田 純治 香川大医師		武田 純治 香川大医師			
外科	午前	佐野 貴範 阪部 雅章	岡田 節雄 井上 達史	森 誠治 佐野 貴範	岡田 節雄 阪部 雅章	森 誠治 井上 達史 橋本 希	交代診療  第1・2・4・5週 橋本 希 (完全予約制)	
午前専門外来			井上 達史 (ストーマケア)					
午後	紹介患者	紹介患者	紹介患者	紹介患者	橋本 希			
外科の午後は手術等がありますので、必ず事前に電話等でのご確認をお願いします。								
呼吸器外科	午後	中野 淳 池田 敏裕		中野 淳 池田 敏裕				
脳外科	午後			香川大医師				
整形外科	一診	松下 誠司	松下 誠司	松下 誠司	松下 誠司	松下 誠司	交代診療	
	二診	森重 浩光	川田 明伸	森重 浩光	川田 明伸	森重 浩光	小松原 悟史 <small>脊椎外来(月2回)</small>	
	初診	川田 明伸	森重 浩光	川田 明伸	森重 浩光	川田 明伸		
	午後一診				森重 浩光			
	午後初診				川田 明伸			
午後専門外来(予約)	真柴 賛 <small>膝・骨粗鬆症(月2回)</small>					田村 知雄 <small>第1・3週リウマチ</small>		
産婦人科	午前	香川大医師	戸田 千	戸田 千	香川大医師	戸田 千		
午後	戸田 千			戸田 千				
泌尿器科	午前	山本 議仁 矢野 敏史	山本 議仁 矢野 敏史	山本 議仁 矢野 敏史	山本 議仁 矢野 敏史	山本 議仁 矢野 敏史		
	午後			予約患者のみ		予約患者のみ		
眼科	午前	大垣 修一	大垣 修一	大垣 修一	大垣 修一	大垣 修一		
	午後	(検査)	(検査)	(検査)	(検査)	(検査)		